



令和4年5月12日

各 位

会 社 名 カワセコンピュータサプライ株式会社
代表者名 代表取締役社長 川 瀬 啓 輔
(コード 7851 東証スタンダード)
問合せ先 最高財務責任者 糸 川 克 秀
(TEL 06-6222-7474)

特別損失の計上及び

令和4年3月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ（非連結）

令和4年3月期決算短信（非連結）において、特別損失等を計上したことにより令和3年5月13日に公表いたしました「令和3年3月期 決算短信（非連結）」の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社は、日本年金機構の入札に関する独占禁止法違反により、令和4年3月3日付で公正取引委員会から課徴金納付命令を受けました。また、本件命令の対象となった請負契約においては、課徴金納付命令が確定した場合、発注者からの請求に基づき違約金を支払うべき旨規定されております。上記による課徴金および違約金の支払見込額6千4百万円は、当社令和4年3月期決算において特別損失に計上する予定であります。

2. 業績予想の修正について

(1) 令和4年3月期通期個別業績予想と実績との差異（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,650	百万円 20	百万円 30	百万円 20	円 銭 4 23
今回実績(B)	2,501	45	48	4	0 90
増減額(B-A)	△149	25	18	△16	—
増減率(%)	△5.6	125.0	60.0	△80.0	—
(ご参考) 前期通期実績 (令和3年3月期)	2,631	35	33	93	19 85

差異の理由

令和3年9月1日に公表しました「中期経営計画の（ローリング計画）策定に関するお知らせ」における業績計画とおり、当期業績の売上高と当期純利益では達成できなかったものの、営業利益、当期純利益では達成する事が出来ました。今般の新型コロナウイルス感染によるテレワークやオンライン会議の浸透や販促物のWEB化・電子化などビジネススタイルの変化による需要減少が続きビジネスフォーム事業の売上高の落ち込みが影響しました。利益におきましては、製造原価をより意識し、標準作業工数を見直す等、一層の省力化、効率化に取組みやビジネスフォーム事業に比べ原材料等が少ない情報処理事業の売上高が増加したことにより営業利益、経常利益を確保することが出来ました。しかしながら、独占禁止法関連損失6千4百万円を計上したことにより当期純利益は4百万円となりました。

3. 業績に与える影響

業績への影響につきましては、本日公表の「令和4年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」をご参照ください。

以 上